

火曜日 5 限

16:30-18:00

8201 教室\*

松本康・香川めい・本田量久

### 授業の目的

この授業は、1 年次必修科目「社会調査法 1」「社会調査法 2」を踏まえて、**量的データの分析の基礎**をマスターすることを狙いとしている。

具体的には、カテゴリーカル・データ（質的変数、離散変量ともいう）を用いたクロス表分析に習熟することを最低限の目標とし、さらにクロス表分析に対応する量的変数（連続変量ともいう）の相関分析へと進む。相関係数は、本質的に単回帰分析と同等であるから、回帰分析の原理を理解し、重回帰分析へと進むことが望ましい。

重回帰分析をはじめとする多変量解析については、選択科目「多変量解析」として開講されるが、コンピュータによる計算は容易であるから、原理を理解した上で、挑戦してほしい。

### 授業方法

授業は、講義と PC 教室を使ったデータ分析実習からなる。使用するデータは、2000 年に東京都 5 市区町村を対象として実施した「東京版総合社会調査」のデータである。

PC 教室は人数制限があるために、クラスを 3 つに分割する。授業日によって、講義室が異なってくるので注意すること。

### クラス分け

PC 教室利用の際のクラス分けは以下の通り。8201 教室でもクラス別に着席すること。

8301 教室 松本・三田

08DA001Z ~ 08DA060D, 05DA090D, 05DA131B, 06DA103D, 07DA004E, 07DA035A, 07DA063K

8302 教室 香川・藤木

08DA061F ~ 08DA119L, 05DA071D, 06DA102B, 07DA129L, 07DA142H, 07DA150D

8402 教室 本田・遠藤

08DA120B ~ 08DA177N, 05DA041A, 05DA046B, 06DA142F, 07DA050B, 07DA096K, 07DD020B

### 成績評価

成績評価は、出席点 30%、レポート 70%（授業途中のレポート提出状況を含む）として機械的に計算をする。出席点も評価に含まれるので「代返」は不正行為となる。

注意!! PC 教室には、飲食物を持ち込まないでください。 ペットボトルはしっかり栓をして、バッグにしまってください。フタができないものは、中身をトイレに流して、ゴミ箱へ捨てるほかないですね。

## 授業日程と内容

- 4/14 第1回 質的変数と量的変数 (8201)  
変数の型と値/度数分布表/比率の推定/SPSS について
- 4/21 第2回 度数分布表の作成 (実習) (8301, 8302, 8402)  
SPSS の起動と終了/度数分布表の作成
- 4/28 第3回 クロス表と  $\chi^2$  二乗検定 (8201)  
クロス集計/因果関係と相関関係/ $\chi^2$  二乗検定とクラメールの V
- 5/12 第4回 クロス表と  $\chi^2$  二乗検定 (実習) (8301, 8302, 8402)  
クロス表の作成/再コード化の技法
- 5/19 第5回 クロス表のエラボレーション (8201)  
クロス表の精密化/偽りの相関/SPSS による三重クロス表の出力
- 5/26 第6回 三重クロス表の作成と解釈 (実習) (8301, 8302, 8402)  
SPSS による三重クロス表の作成/結果の解釈
- 6/2 第7回 統計的分析の基礎 (8201)  
クロス表分析の特徴と限界/代表値/分散と標準偏差
- 6/9 第8回 相関係数 (8201)  
共分散と相関係数
- 6/16 第9回 回帰分析 (8201)  
正規方程式/回帰直線の性質/相関係数と標準回帰係数
- 6/23 第10回 相関係数と回帰分析 (実習) (8301, 8302, 8402)  
量的データの準備/相関係数の計算/回帰式を求める
- 6/30 第11回 平均値の比較と相関比 (8201)  
平均値の比較/相関比/分散分析
- 7/7 第12回 重回帰分析と平均値の比較 (実習) (8301, 8302, 8402)  
重回帰分析/平均値の比較と相関比
- 7/14 第13回 統計データの整理 (実習) (8301, 8302, 8402)  
クロス表の作成/有意水準の表示/度数分布表・クロス集計表のグラフ表示

**最終レポート課題** 東京総合社会調査のデータを用いて、学歴、年齢、性別のどれかひとつの独立変数に焦点を絞り、それが所得に及ぼす効果について、他の変数の効果を調整して明らかにすること。

構成：タイトル、研究の背景（問題の所在、先行研究）、研究目的と仮説、分析方法、分析結果、結果の考察、参考文献

形式：A4 40 字× 35 行× 5 頁（表紙は別）。

提出先：教務事務センター

**参考書** 森岡清志編『ガイドブック社会調査』日本評論社、第9章と第10章（自習）。

盛山和夫『社会調査法入門』有斐閣、第9章～第13章（自習）。

松本康『SPSS 達人への道』<http://www.rikkyo.ne.jp/web/ymatsumoto/tatujin0.htm>